



ASPIC IoT・AI・クラウドアワード 2019 募集のご案内

アワードの目的・メリット

◆総務大臣賞

最優秀のクラウドサービスには総務大臣賞が授与されます。

◆ASP・SaaS・IoT・AI・クラウドサービス表彰

国内で優秀な「社会に有益」かつ、「安心・安全」なクラウドサービス等を表彰し、クラウドサービス事業者及びユーザ企業・団体の事業発展・拡大を積極的に支援し、クラウドサービスが社会情報基盤として発展確立することを目的に実施します。

◆受賞サービス・企業の公表

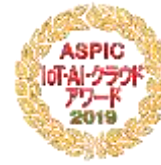
受賞サービス及び企業名は、ASPIC ウェブサイト掲載、ニュースリリース並びに各種マスコミを通して広く社会にアピールできます。

◆ASPIC セミナー・イベントでの発表

受賞サービス及び企業名は、フォーラムや ASPIC 研究会等のイベント時にも発表します。

◆受賞マークによる営業効果

受賞企業は、賞状及び盾が授与され、オフィス・受付等に展示することにより企業イメージアップができ、更に受賞マークをホームページ、会社案内、パンフレット、名刺等に掲載することにより営業効果や認知度向上が図れます。



「ASPIC IoT・AI・クラウドアワード 2019」募集要項

本アワードは、クラウドサービス事業者やユーザ企業・団体を対象に、社会に有益かつ、安心・安全なクラウドサービスの普及促進や市場拡大、並びにビジネス支援を目的に 2007 年に創設し、総務省等の後援を得て、2015 年から総務大臣表彰が設けられました。

この間、国や ICT 業界並びにユーザ企業・団体等広く社会に認知され、応募総数 900 社と多くのご応募をいただいております。

これを機にさらなる多くのご応募をいただきたく、下記要領により募集を行います。

(1) 応募対象

ASP・SaaS・PaaS・IaaS・データセンター・IoT・AI・クラウドサービス提供事業者並びに上記サービスを利用するユーザ企業・団体とします。

(2) 応募部門・分野

①ASP・SaaS 部門

A 社会業界特化分野 B 基幹業務分野 C 支援業務分野 K データ活用分野

②PaaS・IaaS 部門

D システム基盤 E ネットワーク基盤 F 開発・実査基盤 G ハード基盤

③IoT 部門 I

IoT(センサー機器、アクチュエータ含む)

④AI 部門 J

AI(ビッグデータ含む)

⑤データセンター部門 H

国内に設置されており、かつ自社以外の複数の企業にサービスを提供しているデータセンターとします。

⑥運用部門

(i) データセンター運用分野

データセンターの運用保守を実施しているサービスを対象とします。

(ii) サービス運用分野

ASP・SaaS・IoT・AI・クラウドサービスの運用保守を実施しているサービスを対象とします。(EX. 利用環境の構築、デバイスの遠隔・一元管理、監視、運用保守等)

⑦ユーザ部門

国内において、ASP・SaaS・IoT・AI・クラウドサービスを利用しているユーザ企業・団体で部門・分野を問いません。

※応募部門・分野の詳細については、別紙 2-1「IoT・AI・クラウドサービス概念図及び体系図」を参照願います。

(3) 応募方法

①申込受付開始 2019年5月7日(火)

ASPIC ホームページの「申込み」(下記 URL) からお申込みください。

<https://www.aspicjapan.org/event/award/13/index.html>

②エントリーシート入手

「申込み」からお申込みいただくと、自動返信メールにて、「エントリーシートの入手方法」及び「ダウンロード用パスワード」が届きますので、エントリーシートをダウンロードしてください。

なお、エントリーシートのイメージは、別紙 2-2「エントリーシートイメージ」を参照願います。

③エントリーシートの提出 締切 2019年7月31日(水)

エントリーシートに必要事項をご記入し、「ASPIC IoT・AI・クラウドアワード 2019 事務局」(award2019@aspicjapan.org)宛にEメールにてお送りください。

(エントリーシートの提出をもって応募完了となります。)

④応募料

無料

⑤注意事項

(i) 報道発表、並びに表彰状・表彰楯には、エントリーシートに記入された「企業名」、「エントリーサービス名」を使用しますので、記入に当たってはお間違いのないようご注意ください。

(ii) エントリーシートに記載された「サービス概要」及び「サービスの詳細説明」は ASPIC ホームページ等に掲載させていただく場合がありますことをご了承願います。

(4) 審査方法

① 1次審査

1次審査委員会において、エントリーシートに基づき、記載内容について審査します。

② 2次審査

2次審査委員会において、プレゼンテーション資料及びエントリーシートに基づき、プレゼンテーション及び質疑応答により審査します。

③ 審査委員

総務省、外部学識経験者・有識者、公的団体役員、弁護士、マスコミ、ASPIC 会長等により構成されます。

(5) 各賞の内訳

① 総務大臣賞

② ASP・SaaS 部門

総合グランプリ / アプリケーション分野別グランプリ / ベンチャーグランプリ / 他各賞

③ IaaS・PaaS 部門

総合グランプリ / 分野別グランプリ / ベンチャーグランプリ / 他各賞

④ IoT 部門

総合グランプリ / 準グランプリ / ベンチャーグランプリ / 他各賞

⑤ AI 部門

総合グランプリ / 準グランプリ / ベンチャーグランプリ / 他各賞

⑥ データセンター部門

総合グランプリ / 準グランプリ / 他各賞

⑦ 運用部門

総合グランプリ / データセンター運用分野グランプリ / サービス運用分野グランプリ / ベンチャーグランプリ / 他各賞

⑧ ユーザ部門

総合グランプリ / 準グランプリ / ベンチャーグランプリ / 他各賞

各賞の詳細は、別紙 2-3「アワード各賞」を参照願います。

(6) 実施スケジュール(予定)

①応募期間

- ・ 申込受付開始 2019年5月 7日(火)
- ・ エントリーシート提出締切 7月31日(水) 必着

②第1次審査(書類審査)結果通知

8月中旬

③プレゼンテーション資料提出

8月下旬～9月上旬

④第2次審査(プレゼンテーションによる審査)

9月中旬

⑤各賞の決定

10月下旬

⑥表彰式(総務大臣賞等各賞表彰)

11月8日(金) 経団連会館

(7) 後援団体(予定 順不同)

- ・ 総務省
- ・ 一般財団法人 マルチメディア振興センター
- ・ 東京商工会議所
- ・ 一般社団法人 千葉県商工会議所連合会
- ・ 全国ソフトウェア協同組合連合会
- ・ 一般財団法人 インターネット協会
- ・ 一般財団法人 日本システム開発研究所
- ・ 一般社団法人 日本情報システム・ユーザ協会
- ・ 一般社団法人 保健医療福祉情報システム工業会
- ・ 一般社団法人 社会情報学会
- ・ 一般社団法人 東京都情報産業協会
- ・ 一般社団法人 神奈川県情報サービス産業協会
- ・ 公益社団法人 千葉県情報サービス産業協会
- ・ 公益社団法人 埼玉県情報サービス産業協会
- ・ 一般社団法人 日本テレワーク協会
- ・ 一般社団法人 重要生活機器連携セキュリティ協議会
- ・ 一般社団法人 ICT CONNECT21
- ・ 一般社団法人 日本クラウドセキュリティアライアンス

(8) 本件お問合せ先

ASPIC クラウドアワード 2019 事務局

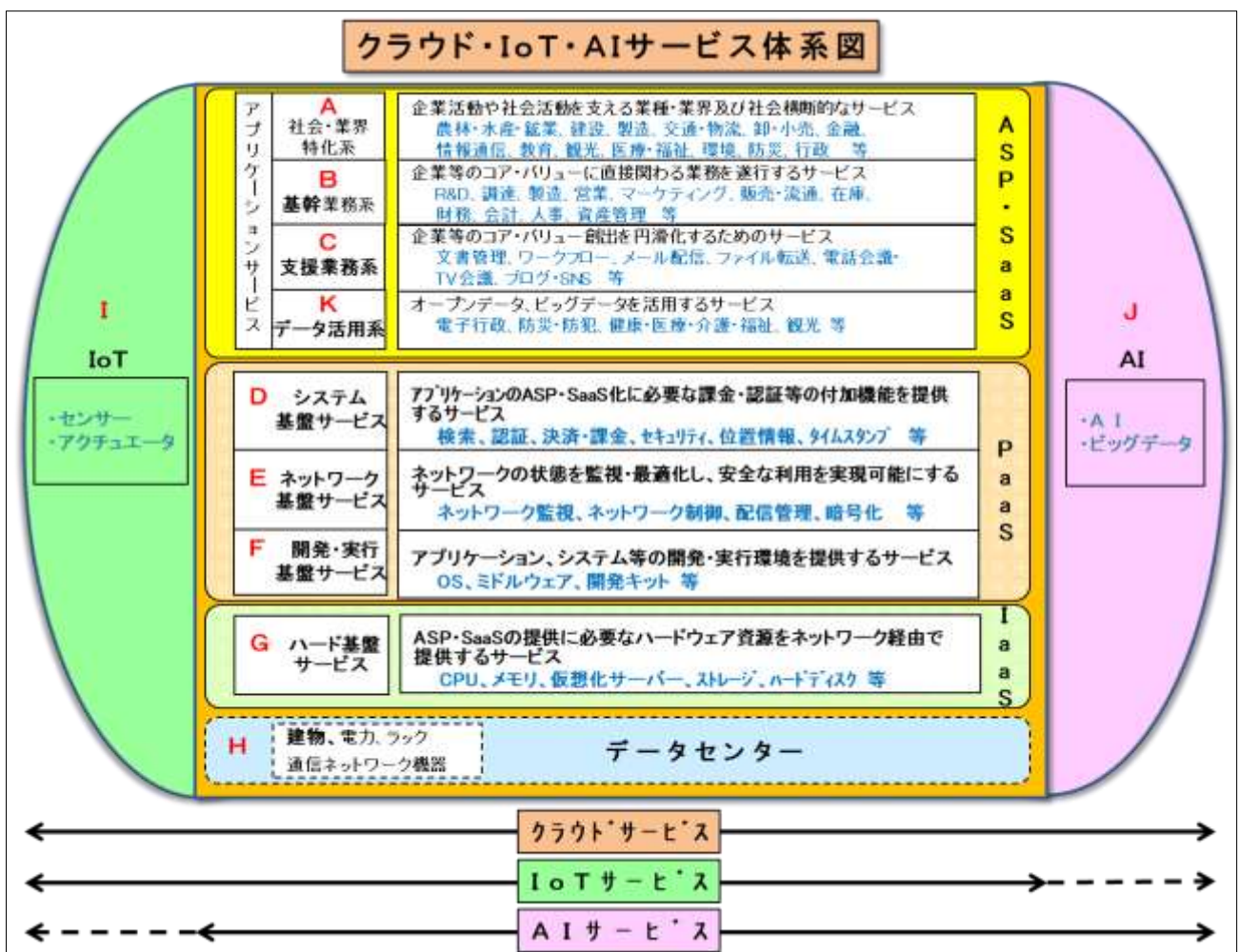
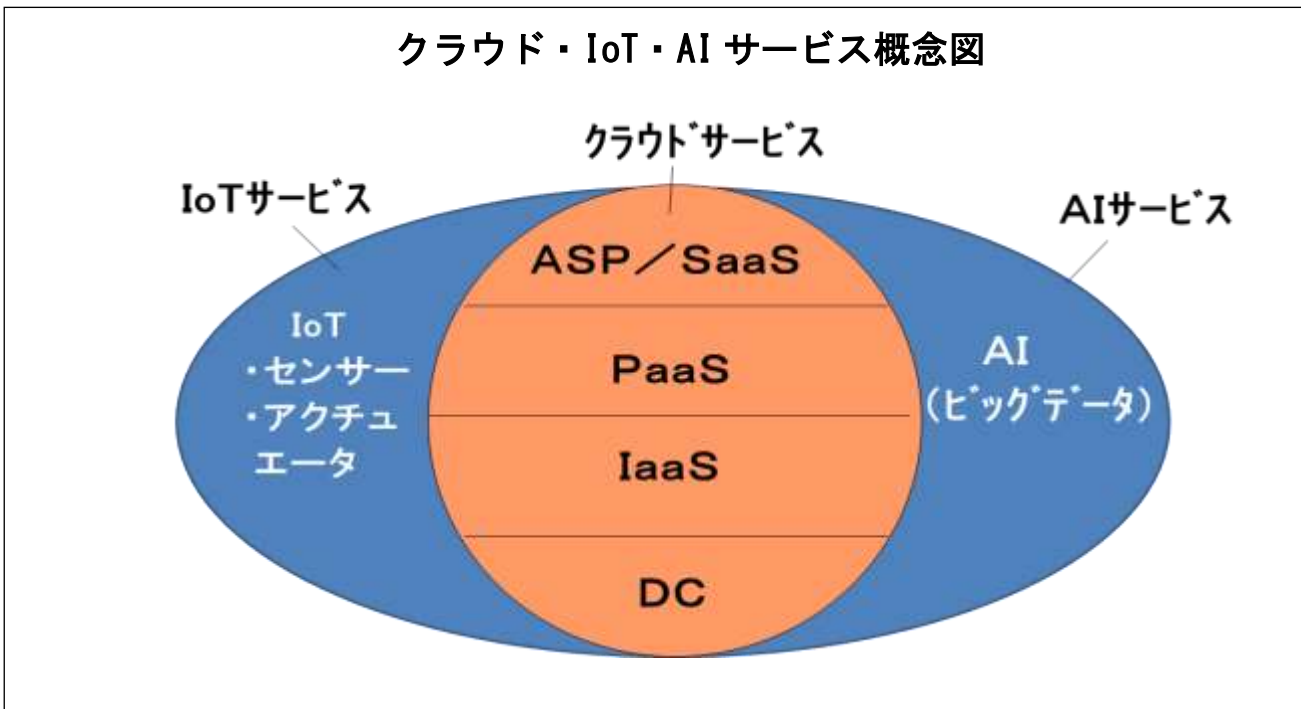
担当 高橋、栗田

e-mail : award2019@aspicjapan.org

T E L : 03-6662-6591 F A X : 03-6662-6347

以上

IoT・AI・クラウドサービス概念図及び体系図



エントリーシートに記載内容と審査項目

主 な 記 入 項 目	応 募 部 門						
	ASP SaaS 部 門	IaaS PaaS 部 門	IoT 部 門	A I 部 門	DC 部 門	運 用 部 門	ユ ー ザ 部 門
会社概要(資本金、売上、社員数、ベンチャー要件、経営ポリシー 等)	●	●	●	●	●	●	●
エントリーサービス(サービス名、サービス開始時期、サービス概要、詳細、等)	●	●	●	●	●	●	●
アピールポイント	●	●	●	●	●	●	●
安心・安全・信頼性	●		●	●	●		●
サービスサポート	●		●	●	●		
活用技術	●	●	●	●	●		
連携・拡張性	●	●	●	●	●		●
経営改革・業務革新	●	●	●	●		●	●
チャレンジ	●	●	●	●	●	●	●
プラットフォーム			●	●			
センサー機器			●	●			
データ収集			●	●			
データ活用			●	●			

◆詳細の記入項目はエントリーシートをダウンロードのうえご確認をお願いします。

アワード各賞

ASPIC IoT・AI・クラウドアワード「総務大臣賞」

各部門の総合グランプリの中で最優秀なクラウドサービス。

ASP・SaaS部門

注：重複の受賞はありません。
応募状況及び審査結果により該当のない賞があります。

1. 総合グランプリ	全評価項目の最高得点のサービス
2. 分野別グランプリ (Application分野別グランプリ)	① 社会・業界特化系分野において最も優れたサービス
	② 基幹業務系分野において最も優れたサービス
	③ 支援業務系分野において最も優れたサービス
3. ベンチャーグランプリ	ベンチャー企業による優れたサービス及び サービス開始間もない将来性の高い優れたサービス(企業規模は問わず)
4. 他各賞	優れた特徴を有するサービス

IaaS・PaaS部門

注：重複の受賞はありません。
応募状況及び審査結果により該当のない賞があります。

1. 総合グランプリ	全評価項目の最高得点のサービス
2. 分野別グランプリ (基盤サービス分野別グランプリ)	① IaaS分野において最も優れたサービス
	② PaaS分野において最も優れたサービス
3. ベンチャーグランプリ	ベンチャー企業による優れたサービス及び サービス開始間もない将来性の高い優れたサービス(企業規模は問わず)
4. 他各賞	優れた特徴を有するサービス

IoT部門

注：重複の受賞はありません。
応募状況及び審査結果により該当のない賞があります。

1. 総合グランプリ	全評価項目の最高得点のサービス
2. 準グランプリ	全評価項目で評価の高いサービス
3. ベンチャーグランプリ	ベンチャー企業による優れたサービス及び サービス開始間もない将来性の高い優れたサービス(企業規模は問わず)
4. 他各賞	優れた特徴を有するサービス

AI部門

注：重複の受賞はありません。
応募状況及び審査結果により該当のない賞があります。

1. 総合グランプリ	全評価項目の最高得点のサービス
2. 準グランプリ	全評価項目で評価の高いサービス
3. ベンチャーグランプリ	ベンチャー企業による優れたサービス及び サービス開始間もない将来性の高い優れたサービス(企業規模は問わず)
4. 他各賞	優れた特徴を有するサービス

データセンター部門

注：重複の受賞はありません。
応募状況及び審査結果により該当のない賞があります。

1. 総合グランプリ	全評価項目の最高得点を獲得したデータセンター
2. 準グランプリ	全評価項目で評価の高いデータセンター
3. 他各賞	優れた特徴を有するデータセンター

運用部門

注：重複の受賞はありません。
応募状況及び審査結果により該当のない賞があります。

1. 総合グランプリ	全評価項目の最高得点を獲得したサービス
2. DC運用分野 グランプリ	DC運用分野で最も評価の高いサービス
3. サービス運用分野 グランプリ	IoT・クラウドサービス運用で最も評価の高いサービス
4. ベンチャーグランプリ	ベンチャー企業による優れた運用サービス及び サービス開始間もない将来性の高い優れた運用サービス(企業規模は問わず)
5. 他各賞	優れた特徴を有するサービス

ユーザ部門

注：重複の受賞はありません。
応募状況及び審査結果により該当のない賞があります。

1. 総合グランプリ	全評価項目で最高得点を獲得したユーザ企業
2. 準グランプリ	全評価項目で評価の高いユーザ企業
3. ベンチャーグランプリ	クラウドサービスの利用により優れた成果を上げたベンチャー企業
4. 他各賞	優れた特徴を有するユーザ企業

《参考》

＜ベンチャー企業＞

独自の技術や製品で成長していく企業を「ベンチャー企業」とし、新たに起業され、創業間もない企業を対象とし、下記のうち2つ以上該当することとします。

- ① ベンチャーキャピタルから出資を受けている会社。
- ② 経済産業省・地方自治体などから、指定ベンチャーの認定を受けている会社。
- ③ オリジナルの技術・ビジネスモデルを確立していて、市場参入している会社。
- ④ 中小企業法に定められる、サービス業で資本金の額又は出資の総額が5千万円以下の会社、又は、常時使用する従業員の数が100人以下の会社。
- ⑤ 設立5年以内の会社。